

試行業務に関する中間報告(参考資料)

- ・試行1:発注方式の適合
- ・試行2:受発注者アンケート

参考資料) 試行1: 業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

【発注方式別】推奨発注方式への適合率について

H25年度に比べ、H26試行1業務では各発注方式において適合率が上昇している。

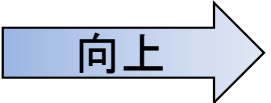
H25年度業務の推奨発注方式適合率

全体適合率 67%

※境界線上の件数は除く

H26年度試行1業務における推奨発注方式適合率

全体適合率 91%



プロポーザル方式

事業区分	選定された発注方式	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	推奨発注方式適合率
河川事業		604	93	41	0	738	82%
道路事業		95	7	2	0	104	91%
測量調査		0	1	2	0	3	0%
地質調査		7	14	10	0	31	23%
合計		706	115	55	0	876	81%

事業区分	選定された発注方式	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	推奨発注方式適合率
河川事業		451	4	0	0	455	99%
道路事業		211	6	0	0	217	97%
測量調査		1	0	0	0	1	100%
地質調査		22	0	1	0	23	96%
合計		685	10	1	0	696	98%

総合評価落札方式

事業区分	選定された発注方式	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	推奨発注方式適合率
河川事業		144	708	185	6	1,043	68%
道路事業		69	646	217	3	935	69%
測量調査		0	6	4	1	11	55%
地質調査		7	168	116	1	292	58%
合計		220	1,528	522	11	2,281	67%

事業区分	選定された発注方式	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	推奨発注方式適合率
河川事業		5	181	27	0	213	85%
道路事業		7	360	34	0	401	90%
測量調査		0	127	4	0	131	97%
地質調査		1	96	12	0	109	88%
合計		13	764	77	0	854	89%

価格競争

事業区分	選定された発注方式	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	推奨発注方式適合率
河川事業		21	49	42	2	114	37%
道路事業		84	131	157	2	374	42%
測量調査		0	34	70	0	104	67%
地質調査		0	0	0	0	0	—%
合計		105	214	269	4	592	45%

事業区分	選定された発注方式	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	推奨発注方式適合率
河川事業		0	3	46	0	49	94%
道路事業		0	22	108	0	130	83%
測量調査		2	46	217	0	265	82%
地質調査		0	6	75	0	81	93%
合計		2	77	446	0	525	85%

参考資料) 試行1: 業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

【発注方式別】推奨発注方式への適合率について

H25年度業務の推奨発注方式適合率

H26年度試行1業務における推奨発注方式適合率

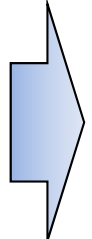
境界線上のものは全体適合率に未算入

プロポーザル方式
総合評価
境界線上

事業区分	選定された発注方式	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	推奨発注方式適合率
河川事業		231	48	8	1	288	97%
道路事業		611	327	107	1	1,046	90%
測量調査		4	57	10	1	72	85%
地質調査		11	15	17	1	44	59%
合計		857	447	142	4	1,450	90%

総合評価
価格競争
境界線上

事業区分	選定された発注方式	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	推奨発注方式適合率
河川事業		44	116	28	0	188	77%
道路事業		48	648	390	12	1,098	95%
測量調査		2	442	679	9	1,132	99%
地質調査		3	204	297	2	506	99%
合計		97	1,410	1,394	23	2,924	96%

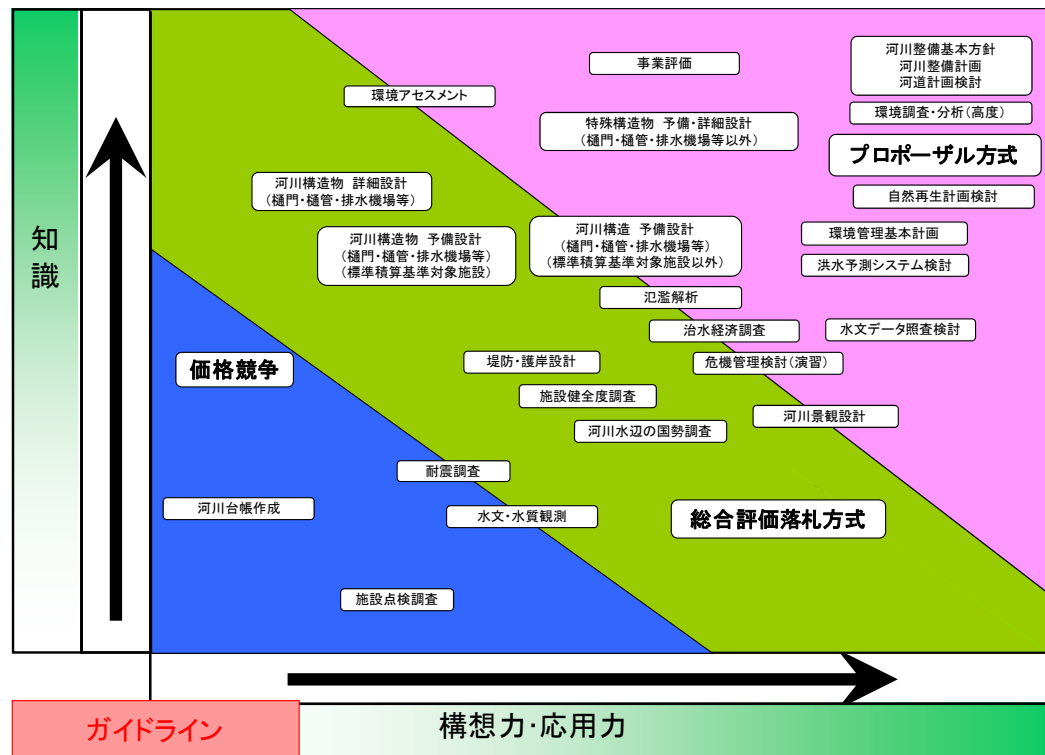


H26年度試行1業務では境界線上の業種はない

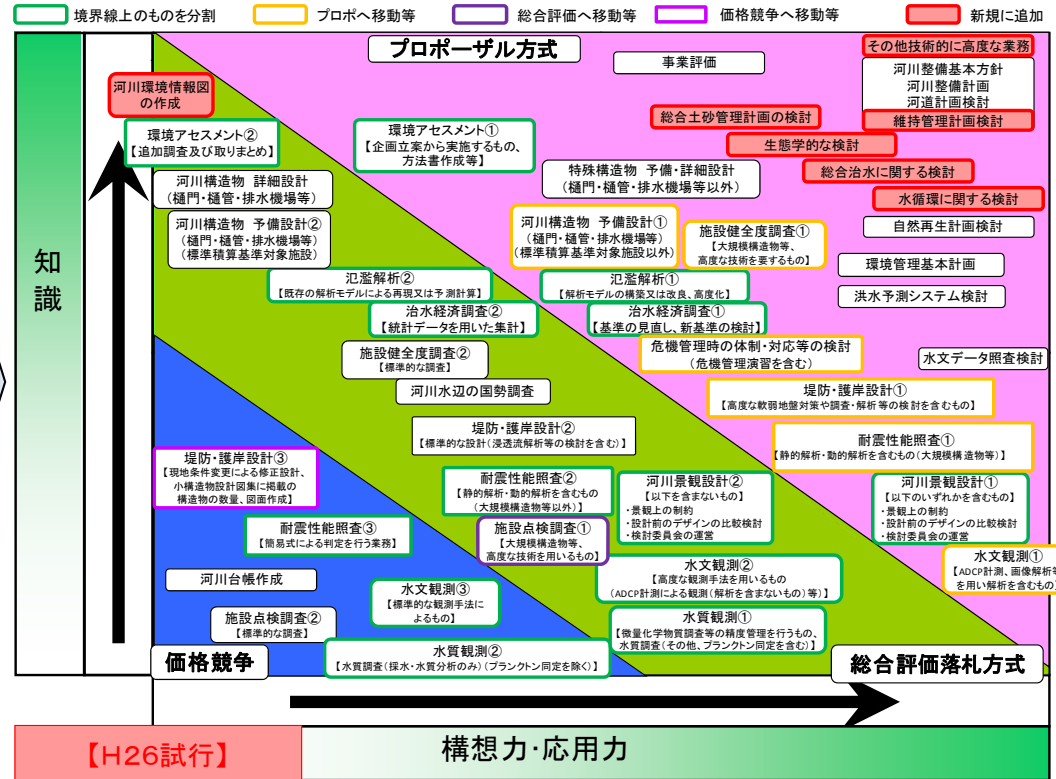
参考資料) 試行1: 業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

【河川事業】発注方式選定表

現行ガイドラインの「発注方式選定表」

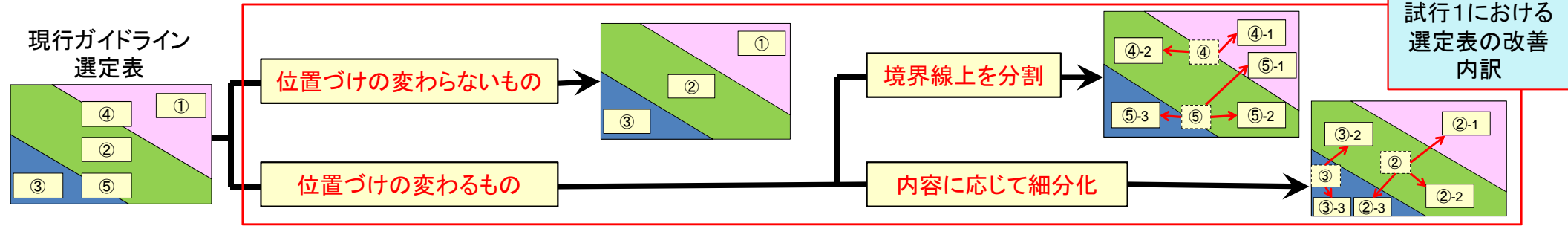


H26試行の「発注方式選定表」



プロポ／総合評価の境界線上にあった6業種
 総合評価／価格競争の境界線上にあった2業種

プロポ、総合評価に分割、またはプロポへ移動
 総合評価、価格競争に分割または総合評価へ移動



参考資料) 試行1: 業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

【河川事業】推奨発注方式適合状況(業務詳細別)

河川事業全体としての推奨発注方式適合率(全体適合率)は、H25年度は74.9%であったが、H26試行1業務では、94.6%に上昇している。

H25年度

H26年度試行1

旧(新との対照)	方式1	方式2	業務細目	発注件数(H25年度契約)					推奨発注方式適合率
				プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	
プロポ			環境調査・分析(高度)	121	45	24	0	190	63.7%
プロポ			河川整備基本方針 河川整備計画 河道計画検討	213	5	2	0	220	96.8%
プロポ			事業評価	72	4	1	0	77	93.5%
プロポ			自然再生計画検討	34	6	2	0	42	81.0%
プロポ			環境管理基本計画	10	2	1	0	13	76.9%
プロポ			洪水予測システム検討	56	3	6	0	65	86.2%
プロポ			水文データ照査検討	29	11	0	0	40	72.5%
プロポ			特殊構造物 予備・詳細設計(樋門・樋管・排水機場等以外)	69	17	5	0	91	75.8%
総合評価			河川構造物 予備設計(樋門・樋管・排水機場等)(標準積算基準対応施設以外)	12	2	0	0	14	100%
総合評価			危機管理検討(演習)	40	5	2	0	47	95.7%
プロポ			環境アセスメント	36	25	1	0	62	98.4%
総合評価			施設健全度調査	36	40	14	0	90	44.4%
プロポ			氾濫解析	121	15	4	1	141	96.5%
プロポ			治水経済調査	5	0	0	0	5	100%
総合評価			堤防・護岸設計	54	277	106	5	442	62.7%
総合評価	価格		耐震調査	27	43	9	0	79	65.8%
プロポ			河川景観設計	17	1	1	0	19	94.7%
総合評価	価格		水文・水質観測	17	73	19	0	109	84.4%
価格			施設点検調査	20	48	38	2	108	35.2%
総合評価			河川構造物 詳細設計(樋門・樋管・排水機場等)	37	184	47	1	269	68.4%
総合評価			河川構造物 予備設計(樋門・樋管・排水機場等)(標準積算基準対応施設)	13	40	11	0	64	62.5%
総合評価			河川水辺の国勢調査	4	167	7	0	178	93.8%
価格			河川台帳作成	1	1	4	0	6	66.7%
			その他	81	37	0	0	118	
			全体	1,125	1,051	304	9	2,489	74.9%

新	業務区分	発注件数(H26.6.16~9月末公示)					推奨発注方式適合率
		プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	
プロポ	その他技術的に高度な業務	107	0	0	0	107	100%
プロポ	維持管理計画検討	41	0	0	0	41	100%
プロポ	総合土砂管理計画の検討	21	0	0	0	21	100%
プロポ	生態学的な検討	13	0	0	0	13	100%
プロポ	総合治水に関する検討	8	0	0	0	8	100%
プロポ	水循環に関する検討	11	0	0	0	11	100%
プロポ	河川整備基本方針	4	0	0	0	4	100%
プロポ	河川整備計画	10	0	0	0	10	100%
プロポ	河道計画検討	26	0	0	0	26	100%
プロポ	事業評価	15	0	0	0	15	100%
プロポ	自然再生計画検討	5	1	0	0	6	83.3%
プロポ	環境管理基本計画	6	0	0	0	6	100%
プロポ	洪水予測システム検討	27	0	0	0	27	100%
プロポ	水文データ照査検討	3	0	0	0	3	100%
プロポ	特殊構造物 予備・詳細設計(樋門・樋管・排水機場等以外)	22	0	0	0	22	100%
プロポ	河川構造物 予備設計①(樋門・樋管・排水機場等)(標準積算基準対象施設以外)	14	2	0	0	16	87.5%
プロポ	危機管理時の体制・対応等の検討(危機管理演習を含む)	39	1	0	0	40	97.5%
プロポ	環境アセスメント①【企画立案から実施するもの、方法書作成等】	2	0	0	0	2	100%
総合評価	環境アセスメント②【追加調査及び取りまとめ】	0	5	1	0	6	83.3%
プロポ	施設健全度調査①【大規模構造物等、高度な技術を要するもの】	19	0	0	0	19	100%
総合評価	施設健全度調査②【標準的な調査】	0	10	1	0	11	90.9%
プロポ	氾濫解析①【解析モデルの構築又は改良、高度化】	27	0	0	0	27	100%
総合評価	氾濫解析②【既存の解析モデルによる再現または予測計算】	0	1	0	0	1	100%
プロポ	治水経済調査①【基準の見直し、新基準の検討】	5	0	0	0	5	100%
総合評価	治水経済調査②【統計データを用いた集計】	0	3	0	0	3	100%
プロポ	堤防・護岸設計①【高度な軟弱地盤対策や調査・解析等の検討を含むもの】	13	0	0	0	13	100%
総合評価	堤防・護岸設計②【標準的な設計(浸透流解析等の検討を含む)】	0	52	3	0	55	94.5%
価格	堤防・護岸設計③【現地条件変更による修正設計、小構造物設計図集に掲載の構造物の数量、図面作成】	0	2	28	0	30	93.3%
プロポ	耐震性能照査①【静的解析・動的解析を含むもの(大規模構造物等)】	9	0	0	0	9	100%
総合評価	耐震性能照査②【静的解析・動的解析を含むもの(大規模構造物以外)】	3	5	0	0	8	62.5%
価格	耐震性能照査③【簡易式による判定を行う業務】	0	0	3	0	3	100%
プロポ	河川景観設計①【以下のいずれかを含むもの】・景観上の制約・設計前のデザインの比較検討・検討委員会の運営	3	0	0	0	3	100%
総合評価	河川景観設計②【以下を含まないもの】・景観上の制約・設計前のデザインの比較検討・検討委員会の運営	0	0	0	0	0	
プロポ	水文観測①【ADCP計測、画像解析等を用い解析を含むもの】	1	0	0	0	1	100%
総合評価	水文観測②【高度な観測手法を用いるもの(ADCP計測による観測(解析を含まないもの)等)】	0	1	0	0	1	100%
総合評価	水質観測①【微量化学物質調査等の精度管理を行うもの、水質調査(その他、プランクトン同定を含む)】	0	5	0	0	5	100%
価格	水文観測③【標準的な観測手法によるもの】	0	1	3	0	4	75.0%
価格	水質観測②【水質調査(採水・水質分析のみ)(プランクトン同定を除く)】	0	0	2	0	2	100%
総合評価	施設点検調査①【大規模構造物等、高度な技術を用いるもの】	0	1	0	0	1	100%
価格	施設点検調査②【標準的な調査】	0	0	9	0	9	100%
総合評価	河川環境情報図の作成	1	3	0	0	4	75.0%
総合評価	河川構造物 詳細設計(樋門・樋管・排水機場等)	1	70	8	0	79	88.6%
総合評価	河川構造物 予備設計②(樋門・樋管・排水機場等)(標準積算基準対象施設)	0	23	13	0	36	63.9%
総合評価	河川水辺の国勢調査	0	2	1	0	3	66.7%
価格	河川台帳作成	0	0	1	0	1	100%
	【業務区分の判別がつかない業務】	10	52	15	0	77	
	全体	466	240	88	0	794	94.6%

全体適合率 74.9%

向上

全体適合率 94.6%

参考資料) 試行1: 業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

【河川事業】発注方式別の適合率、および業務の内容に合わせて区分を適正化した業務の例

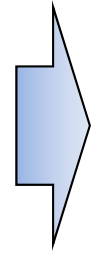
H25年度に比べ、H26試行1業務では各発注方式において適合率が上昇している。

H25年度業務の推奨発注方式適合率

H26年度試行1業務における推奨発注方式適合率

選定された発注方式 推奨発注方式	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	推奨発注方式 適合率
プロポ	604	93	41	0	738	82%
プロポ/総合評価 境界上	231	48	8	1	288	97%
総合評価	144	708	185	6	1,043	68%
総合評価/価格競争 境界上	44	116	28	0	188	77%
価格競争	21	49	42	2	114	37%
合計	1,044	1,014	304	9	2,371	75%

選定された発注方式 推奨発注方式	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	推奨発注方式 適合率
プロポ	451	4	0	0	455	99%
総合評価	5	181	27	0	213	85%
価格競争	0	3	46	0	49	94%
合計	456	188	73	0	717	95%



■ 堤防・護岸設計 凡例 □ : 推奨発注方式

■ 耐震照査 凡例 □ : 推奨発注方式

H25年度業務		H26試行1業務(～9月末公示)			適合率
発注方式	発注件数	発注方式	推奨方式による 発注件数	推奨方式以外による 発注件数	
プロポ	54	プロポ	13	0	100%
総合評価	277	総合評価	52	3 (プロポ)	95%
価格競争	106	価格競争	28	2 (総合評価)	93%
随意契約	5	随意契約			
合計	442	合計	98		

高度な対策、解析を含む
 標準的な設計
 修正設計、図面作成等
 適合率 63%

H25年度業務		H26試行1業務(～9月末公示)			適合率
発注方式	発注件数	発注方式	推奨方式による 発注件数	推奨方式以外による 発注件数	
プロポ	27	プロポ	9	0	100%
総合評価	43	総合評価	5	3 (プロポ)	63%
価格競争	9	価格競争	3	0	100%
随意契約	0	随意契約			
合計	79	合計	20		

大規模構造物の
静的・動的解析
 大規模構造物以外の
静的・動的解析
 簡易式による判定
 適合率 66%

原因を分析

H25年度では、総合評価落札方式推奨業務であったが、54件(12%)がプロポーザル方式、106件(24%)が価格競争で発注されており、推奨発注方式が適切に運用されていなかった。

試行1では、業務内容に応じて推奨発注方式をプロポーザル方式、総合評価落札方式、価格競争に区分したため、業務内容に見合った発注方式が選定されるようになった(適合率は向上した)。

H25年度では、27件(34%)が推奨発注方式以外のプロポーザル方式で発注されている。

試行1では、業務内容に応じて推奨発注方式をプロポーザル方式、総合評価落札方式、価格競争に区分したため、概ね業務内容に見合った発注方式が選定されるようになった。しかし、総合評価落札方式推奨業務の一部でプロポーザル方式が採用されている。

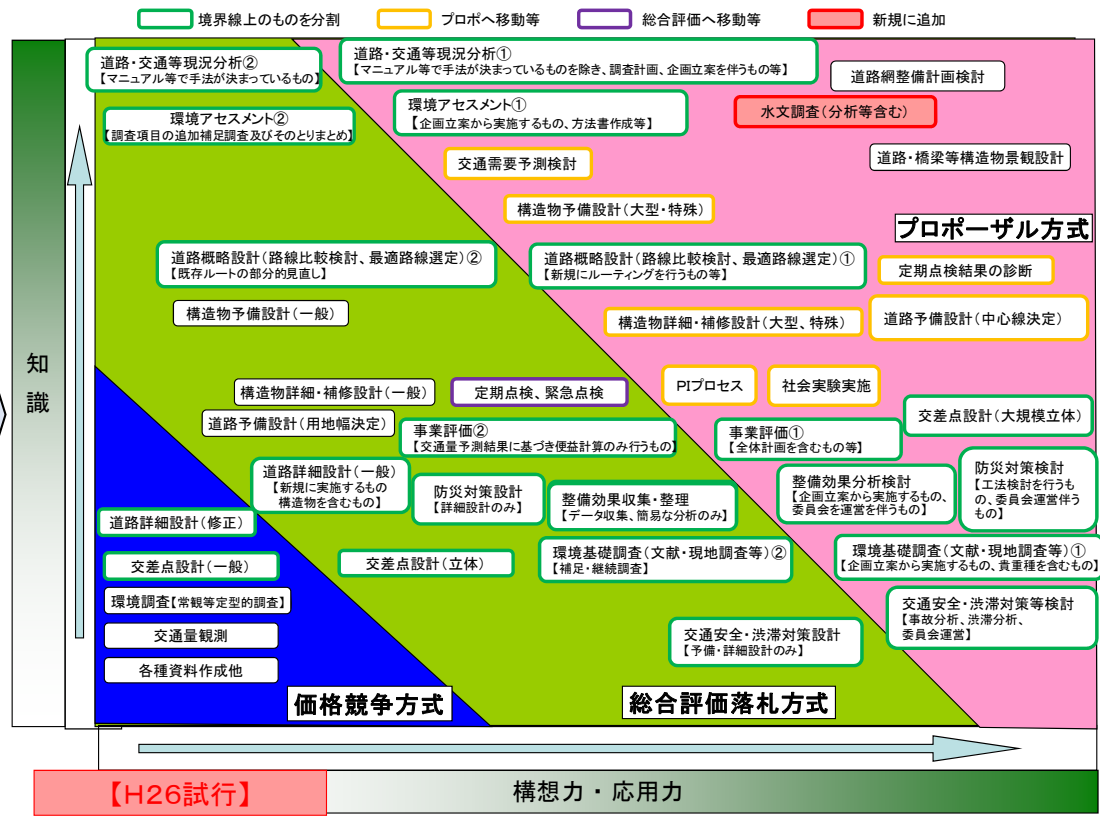
参考資料) 試行1: 業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

【道路事業】発注方式選定表

現行ガイドラインの「発注方式選定表」

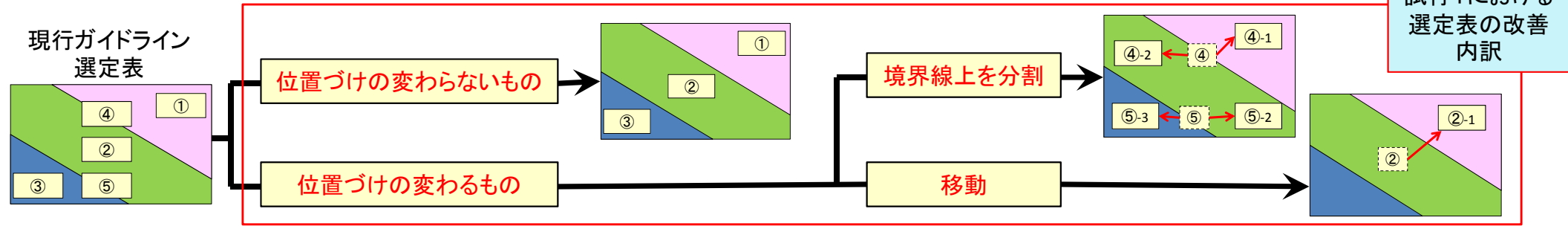


H26試行の「発注方式選定表」



プロポ／総合評価の境界線上にあった14業種
 総合評価／価格競争の境界線上にあった3業種

プロポ、総合評価に分割、またはプロポへ移動
 総合評価、価格競争に分割



参考資料) 試行1: 業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

【道路事業】の推奨発注方式適合状況(業務詳細別)

道路事業全体の推奨発注方式適合率(全体適合率)は、H25年度は80.8%であったが、H26試行1業務では、90.8%に上昇している。

H25年度

H26年度試行1

旧(新との対照)		業務細目	発注件数(H25年度契約)				推奨発注方式適合率	
方式1	方式2		プロポ	総合評価	価格競争	特命随契約		
プロポ		道路網整備計画検討	90	5	0	0	95	94.7%
プロポ		道路・橋梁等構造物景観設計	5	2	2	0	9	55.6%
総合評価		定期点検結果の診断	3	26	2	0	31	83.9%
プロポ	総合評価	道路予備設計(中心線決定)	16	22	4	0	42	90.5%
プロポ	総合評価	交通需要予測検討	20	4	1	0	25	96.0%
プロポ	総合評価	構造物予備・補修設計(大型・特殊) トンネル設計	69	36	14	0	119	88.2%
プロポ	総合評価	構造物詳細設計(大型・特殊)	53	126	33	0	212	84.4%
プロポ	総合評価	PIプロセス・社会実験実施	9	0	0	0	9	100%
プロポ	総合評価	交差点設計(立体交差)	2	4	0	0	6	100%
プロポ	総合評価	防災対策検討	40	19	9	1	69	85.5%
プロポ	総合評価	道路・交通等現況分析	61	4	10	0	75	86.7%
プロポ	総合評価	環境アセスメント	29	15	0	0	44	100%
プロポ	総合評価	道路概略設計(路線比較検討、最適路線選定)	33	10	7	0	50	86.0%
プロポ	総合評価	事業評価	35	7	1	0	43	97.7%
プロポ	総合評価	整備効果分析検討	93	9	1	0	103	99.0%
プロポ	総合評価	環境基礎調査(文献・現地調査等)	67	47	10	0	124	91.9%
プロポ	総合評価	交通安全・渋滞対策等検討	84	24	17	0	125	86.4%
総合評価		構造物予備設計(一般)	15	63	8	0	86	73.3%
総合評価		構造物詳細・補修設計(一般)	47	531	200	3	781	68.0%
総合評価		道路予備設計(用地幅決定)	4	26	7	0	37	70.3%
総合評価	価格	定期点検、緊急点検	24	314	195	10	543	93.7%
総合評価	価格	道路詳細設計	22	310	175	2	509	95.3%
総合評価	価格	交差点設計(一般)	2	24	20	0	46	95.7%
価格		環境調査(常時観測等)	23	36	26	2	87	29.9%
価格		交通量観測	3	4	31	0	38	81.6%
価格		各種資料作成	58	91	100	0	249	40.2%
		その他	26	7	0	0	33	
全体			933	1,766	873	18	3,590	80.8%

新		業務区分	発注件数(H26.6.16~9月末公示)				推奨発注方式適合率	
方式	業務区分		プロポ	総合評価	価格競争	特命随契約		
プロポ		水文調査(分析等含む)	0	0	0	0	0	
プロポ		道路網整備計画検討	15	0	0	0	15	100%
プロポ		道路・橋梁等構造物景観設計	2	0	0	0	2	100%
プロポ		定期点検結果の診断	4	0	0	0	4	100%
プロポ		道路予備設計(中心線決定)	7	2	0	0	9	77.8%
プロポ		交通需要予測検討	6	0	0	0	6	100%
プロポ		構造物予備設計(大型・特殊)	11	0	0	0	11	100%
プロポ		構造物詳細・補修設計(大型・特殊)	63	3	0	0	66	95.5%
プロポ		PIプロセス	2	0	0	0	2	100%
プロポ		社会実験実施	1	0	0	0	1	100%
プロポ		交差点設計(大規模立体)	0	0	0	0	0	
総合評価		交差点設計(立体)	0	0	0	0	0	
プロポ		防災対策検討【工法検討を行うもの、委員会運営伴うもの】	16	0	0	0	16	100%
総合評価		防災対策設計【詳細設計のみ】	0	12	2	0	14	85.7%
プロポ		道路・交通等現況分析①【マニュアル等で手法が決まっているものを除き、調査計画、企画立案を伴うもの等】	21	0	0	0	21	100%
総合評価		道路・交通等現況分析②【マニュアル等で手法が決まっているもの】	1	2	0	0	3	66.7%
プロポ		環境アセスメント①【企画立案から実施するもの、方法書作成等】	3	0	0	0	3	100%
総合評価		環境アセスメント②【調査項目の追加補足調査及びそのとりまとめ】	0	1	0	0	1	100%
プロポ		道路概略設計(路線比較検討、最適路線選定)①【新規にルーティングを行うもの等】	4	0	0	0	4	100%
総合評価		道路概略設計(路線比較検討、最適路線選定)②【既存ルートの一部的見直し】	0	3	0	0	3	100%
プロポ		事業評価①【全体計画を含むもの等】	12	0	0	0	12	100%
総合評価		事業評価②【交通量予測結果に基づき便益計算のみ行うもの】	0	0	0	0	0	
プロポ		整備効果分析検討【企画立案から実施するもの、委員会運営を行うもの】	13	0	0	0	13	100%
総合評価		整備効果収集・整理【データの収集、簡易な分析のみ】	0	7	0	0	7	100%
プロポ		環境基礎調査(文献・現地調査等)①【企画立案から実施するもの、貴重種を含むもの】	4	0	0	0	4	100%
総合評価		環境基礎調査(文献・現地調査等)②【補足・継続調査】	0	6	0	0	6	100%
プロポ		交通安全・渋滞対策等検討【事故分析、渋滞分析、委員会運営】	27	1	0	0	28	96.4%
総合評価		交通安全・渋滞対策設計【予備・詳細設計のみ】	2	9	1	0	12	75.0%
総合評価		構造物予備設計(一般)	0	12	0	0	12	100%
総合評価		構造物詳細・補修設計(一般)	1	159	13	0	173	91.9%
総合評価		道路予備設計(用地幅決定)	3	5	0	0	8	62.5%
総合評価		定期点検、緊急点検	0	78	11	0	89	87.6%
総合評価		道路詳細設計(一般)【新規に実施するもの、構造物を含むもの】	0	66	7	0	73	90.4%
価格		道路詳細設計(修正)	0	3	34	0	37	91.9%
価格		交差点設計(一般)	0	4	14	0	18	77.8%
価格		環境調査【常観等定型的調査】	0	0	6	0	6	100%
価格		交通量観測	0	3	9	0	12	75.0%
価格		各種資料作成他	0	12	45	0	57	78.9%
		【業務区分の判別がつかない業務】	28	40	8	0	76	
全体			246	429	150	0	824	90.8%

全体適合率 80.8%

向上

全体適合率 90.8%

参考資料) 試行1: 業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

【道路事業】発注方式別の適合率、および業務の内容に合わせて区分を適正化した業務の例

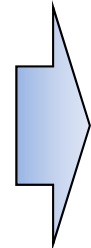
H25年度に比べ、H26試行1業務では各発注方式において適合率が上昇している。

H25年度業務の推奨発注方式適合率

推奨発注方式	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	推奨発注方式適合率
プロポ	95	7	2	0	104	91%
プロポ/総合評価 境界上	611	327	107	1	1,046	90%
総合評価	69	646	217	3	935	69%
総合評価/価格競争 境界上	48	648	390	12	1,098	95%
価格競争	84	131	157	2	374	42%
合計	907	1,759	873	18	3,557	81%

H26年度試行1業務における推奨発注方式適合率

推奨発注方式	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	推奨発注方式適合率
プロポ	211	6	0	0	217	97%
総合評価	7	360	34	0	401	90%
価格競争	0	22	108	0	130	83%
合計	218	388	142	0	748	91%



■ 構造物詳細設計(大型・特殊)

凡例 □ : 推奨発注方式

H25年度業務		H26試行1業務(～9月末公示)			適合率
発注方式	発注件数	推奨方式による発注件数	推奨方式以外による発注件数	適合率	
プロポ	53	63	3 (総合評価)	95%	
総合評価	126				
価格競争	33				
随意契約	0				
合計	212	66			

注: 適合率 84% (H25年度業務内)

注: プロポーザル方式へ完全移動 (H25年度業務からH26試行1業務へ)

H25年度にはプロポーザル方式と総合評価落札方式のいずれかを選択することとなっており、約60%で総合評価落札方式が選択されていた。

試行1では、推奨発注方式がプロポーザル方式へ移動した。95%の業務でプロポーザル方式が選択されている。

■ 防災対策検討

凡例 □ : 推奨発注方式

H25年度業務		H26試行1業務(～9月末公示)			適合率
発注方式	発注件数	推奨方式による発注件数	推奨方式以外による発注件数	適合率	
プロポ	40	16	0	100%	
総合評価	19	12	2 (価格競争)		
価格競争	9				
随意契約	1				
合計	69	30			

注: 適合率 86% (H25年度業務内)

注: 工法検討、委員会運営 (H25年度業務からH26試行1業務へ)

注: 詳細設計のみ (H25年度業務からH26試行1業務へ)

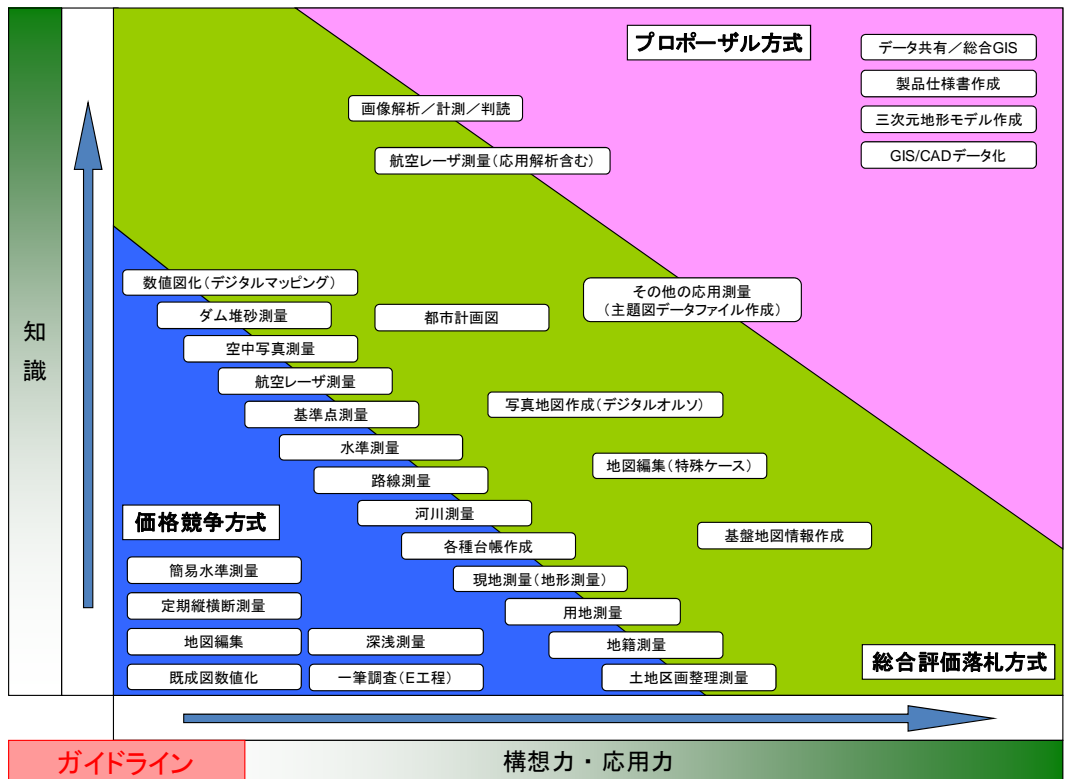
H25年度ではプロポーザル方式と総合評価落札方式の境界線上にあり、業務内容に応じて発注者の判断で発注方式が選択されていた。

試行1では、業務内容に応じて推奨発注方式を明確にプロポーザル方式、総合評価落札方式に区分したため、業務内容に見合った発注方式が選択されるようになった。

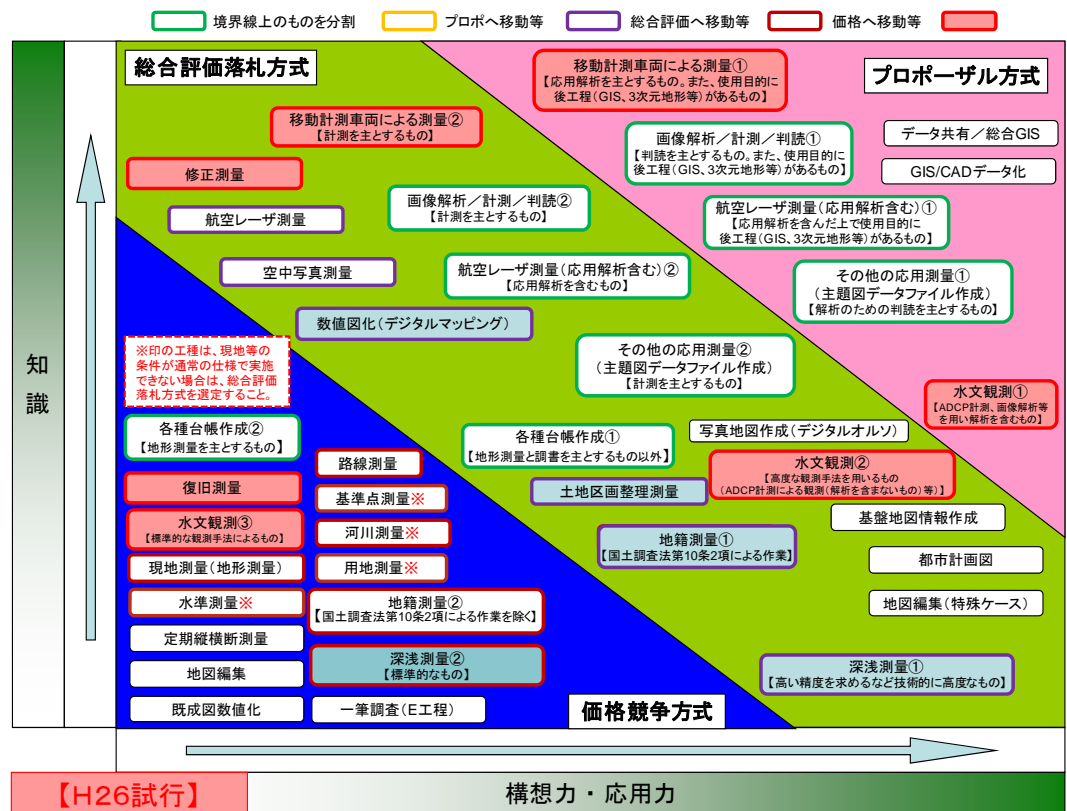
参考資料) 試行1: 業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

【測量調査】発注方式選定表

現行ガイドラインの「発注方式選定表」

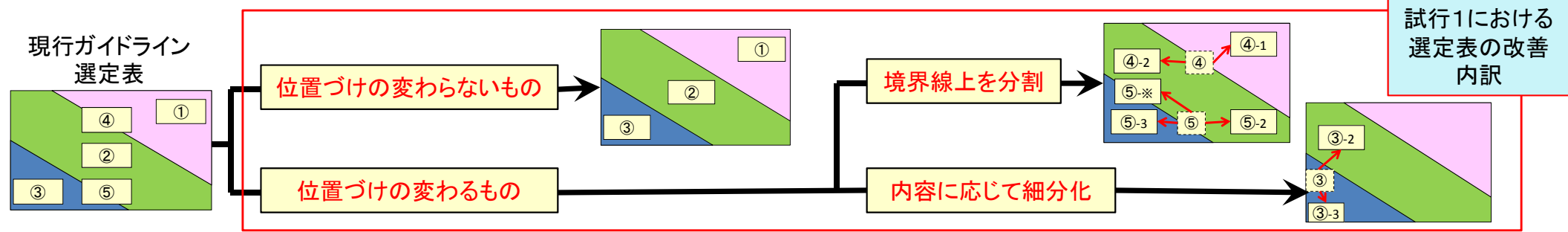


H26試行の「発注方式選定表」



プロポ／総合評価の境界線上にあった3業種
 総合評価／価格競争の境界線上にあった13業種

プロポ、総合評価に分割
 6業種は価格競争へ、5業種は総合評価へ移動、2業種は分割



参考資料) 試行1: 業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

【測量調査】推奨発注方式適合状況(業務詳細別)

測量調査全体の推奨発注方式適合率(全体適合率)は、H25年度は95.2%であったが、H26試行1業務では、86.9%に低下している。

H25年度

H26年度試行1

旧(新との対照) 方式1	方式2	業務細目	発注件数(H25年度契約)					推奨発注方式 適合率
			プロポ	総合評価	価格競争	特命随契約	計	
プロポ		データ共有/総合GIS	0	0	0	0	0	
プロポ		GIS/CADデータ化	0	0	2	0	2	0%
プロポ	総合評価	画像解析/計測/判読	0	18	2	0	20	90.0%
プロポ	総合評価	航空レーザー測量(応用解析含む)	4	38	6	1	49	85.7%
プロポ	総合評価	その他の応用測量(主題図データファイル作成)	0	1	2	0	3	33.3%
総合評価		写真地図作成(デジタルオルソ)	0	5	2	0	7	71.4%
総合評価		基盤地図情報作成	0	1	2	1	4	25.0%
総合評価		都市計画図	0	0	0	0	0	
総合評価		地図編集(特殊ケース)	0	0	0	0	0	
総合評価	価格	航空レーザー測量	1	79	5	0	85	98.8%
総合評価	価格	空中写真測量	0	15	25	0	40	100%
総合評価	価格	数値図化(デジタルマッピング)	0	17	11	0	28	100%
総合評価	価格	土地区画整理測量	0	0	0	0	0	
総合評価	価格	各種台帳作成	0	41	51	0	92	100%
総合評価	価格	地籍測量	0	1	10	0	11	100%
価格		深淺測量	0	11	15	0	26	57.7%
総合評価	価格	路線測量	0	60	140	0	200	100%
総合評価	価格	基準点測量	0	23	39	0	62	100%
総合評価	価格	河川測量	0	93	97	6	196	96.9%
総合評価	価格	現地測量(地形測量)	0	53	94	2	149	98.7%
総合評価	価格	用地測量	0	23	167	0	190	100%
総合評価	価格	水準測量	0	7	7	0	14	100%
価格		定期縦横断測量	0	17	41	0	58	70.7%
価格		地図編集	0	5	9	0	14	64.3%
価格		既成図数値化	0	0	1	0	1	100%
価格		一筆調査(E工程)	0	0	0	0	0	
プロポ		三次元地形モデル作成	0	1	0	0	1	0%
プロポ		製品仕様書作成	0	0	0	0	0	
総合評価	価格	ダム堆砂測量	1	30	33	1	65	96.9%
価格		簡易水準測量	0	1	4	0	5	80.0%
		その他	0	9	7	0	16	
全体			6	549	772	11	1,338	95.2%

新 方式	業務区分	発注件数(H26.6.16~9月末公示)					推奨発注方式 適合率
		プロポ	総合評価	価格競争	特命随契約	計	
プロポ	移動計測車両による測量①【応用解析を主とするもの。また、使用目的に後工程(GIS、3次元地形等)があるもの】	0	0	0	0	0	
プロポ	水文観測①【ADCP計測、画像解析等を用い解析を行うもの】	0	0	0	0	0	
プロポ	データ共有/総合GIS	0	0	0	0	0	
プロポ	GIS/CADデータ化	0	0	0	0	0	
プロポ	画像解析/計測/判読①【判読を主とするもの。また、使用目的に後工程(GIS、3次元地形等)があるもの】	0	0	0	0	0	
総合評価	画像解析/計測/判読②【計測を主とするもの】	0	1	0	0	1	100%
プロポ	航空レーザー測量(応用解析含む)①【応用解析を含んだ上で使用目的に後工程(GIS、3次元地形等)があるもの】	1	0	0	0	1	100%
総合評価	航空レーザー測量(応用解析含む)②【応用解析を含むもの】	0	3	0	0	3	100%
プロポ	その他の応用測量①(主題図データファイル作成【解析のための判読を主とするもの】)	0	0	0	0	0	
総合評価	その他の応用測量②(主題図データファイル作成【計測を主とするもの】)	0	2	0	0	2	100%
総合評価	移動計測車両による測量②【計測を主とするもの】	0	1	0	0	1	100%
総合評価	修正測量	0	1	0	0	1	100%
総合評価	水文観測②【高度な観測手法を用いるもの(ADCP計測による観測(解析を含まないもの)等】	0	0	0	0	0	
総合評価	写真地図作成(デジタルオルソ)	0	1	0	0	1	100%
総合評価	基盤地図情報作成	0	1	0	0	1	100%
総合評価	都市計画図	0	0	0	0	0	
総合評価	地図編集(特殊ケース)	0	0	0	0	0	
総合評価	航空レーザー測量	0	16	1	0	17	94.1%
総合評価	空中写真測量	0	12	1	0	13	92.3%
総合評価	数値図化(デジタルマッピング)	0	9	2	0	11	81.8%
総合評価	土地区画整理測量	0	1	0	0	1	100%
総合評価	各種台帳作成①【地形測量と調書を主とするもの以外】	0	15	0	0	15	100%
価格	各種台帳作成②【地形測量を主とするもの】	0	6	14	0	20	70.0%
総合評価	地籍測量①【国土調査法第10条第2項による作業】	0	1	0	0	1	100%
価格	地籍測量②【国土調査法第10条第2項による作業を除く】	0	1	2	0	3	66.7%
総合評価	深淺測量①【高い精度を求めると技術的に高度なもの】	0	23	0	0	23	100%
価格	深淺測量②【標準的なもの】	0	5	15	0	20	75.0%
価格	復旧測量	0	0	0	0	0	
価格	水文観測【標準的な観測手法によるもの】	0	2	6	0	8	75.0%
価格	路線測量	1	15	39	0	55	70.9%
価格	基準点測量 ※	0	5	11	0	16	100.0%
価格	河川測量 ※	0	12	23	0	35	100.0%
価格	現地測量(地形測量)	1	4	17	0	22	77.3%
価格	用地測量 ※	0	23	68	0	91	100.0%
価格	水準測量 ※	0	0	3	0	3	100.0%
価格	定期縦横断測量	0	9	18	0	27	66.7%
価格	地図編集	0	3	1	0	4	25.0%
価格	既成図数値化	0	1	0	0	1	0%
価格	一筆調査(E工程)	0	0	0	0	0	
※印の工種は、現地等の条件が通常の使用で実施できない場合は、総合評価落札方式を選定すること							
【業務区分の判別がつかない業務】		0	6	5	0	11	
全体		3	179	226	0	408	86.9%

全体適合率 95.2%

低下

全体適合率 86.9%

参考資料) 試行1: 業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

【測量調査】発注方式別の適合率、および業務の内容に合わせて区分を適正化した業務の例

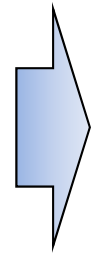
H25年度に比べ、H26試行1業務では各発注方式において適合率が上昇しているが、業務件数の多い価格競争(業務件数160件)での上昇が67%⇒70%と現段階では小さいため、全体適合率は下降している。

H25年度業務の推奨発注方式適合率

選定された発注方式 推奨発注方式	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	推奨発注方式 適合率
プロポ	0	1	2	0	3	0%
プロポ/総合評価 境界上	4	57	10	1	72	85%
総合評価	0	6	4	1	11	55%
総合評価/価格競争 境界上	2	442	679	9	1,132	99%
価格競争	0	34	70	0	104	67%
合計	6	540	765	11	1,322	95%

H26年度試行1業務における推奨発注方式適合率

選定された発注方式 推奨発注方式	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	推奨発注方式 適合率
プロポ	1	0	0	0	1	100%
総合評価	0	87	4	0	91	96%
価格競争(条件により総合評価)	0	40	105	0	145	100%
価格競争	2	46	112	0	160	70%
合計	3	127	221	0	397	87%



■ 深淺測量 凡例 □: 推奨発注方式

H25年度業務		H26試行1業務(～9月末公示)			適合率
発注方式	発注件数	発注方式	推奨方式による 発注件数	推奨方式以外による 発注件数	
プロポ	0	プロポ			
総合評価	11	総合評価	23	0	100%
価格競争	15	価格競争	15	5 (総合評価)	75%
随意契約	0	随意契約			
合計	26	合計	43		

高い精度を求めるもの
標準的なもの

適合率 58%

H25年度では、価格競争が推奨されていた業務であるが、約40%が総合評価落札方式で発注されており、推奨発注方式が適切でなかった。

試行1では、業務内容に応じ、推奨発注方式に総合評価落札方式を追加した。業務内容に見合った発注方式が選択されるようになり、適合率が向上した。

価格競争で発注されるべき業務であるが、関東地方整備局では、「総合評価実施方針確認型」として総合評価落札方式が23件選択されている

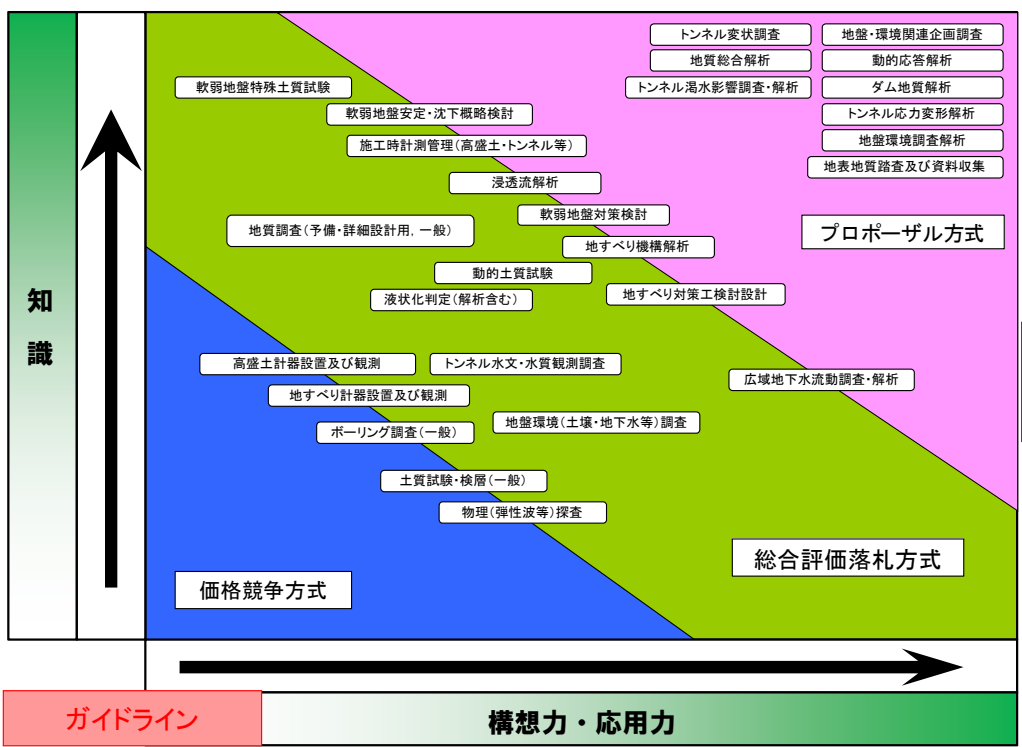
価格競争方式の適合率が70%に低下

全体適合率が95%⇒ 87%に低下

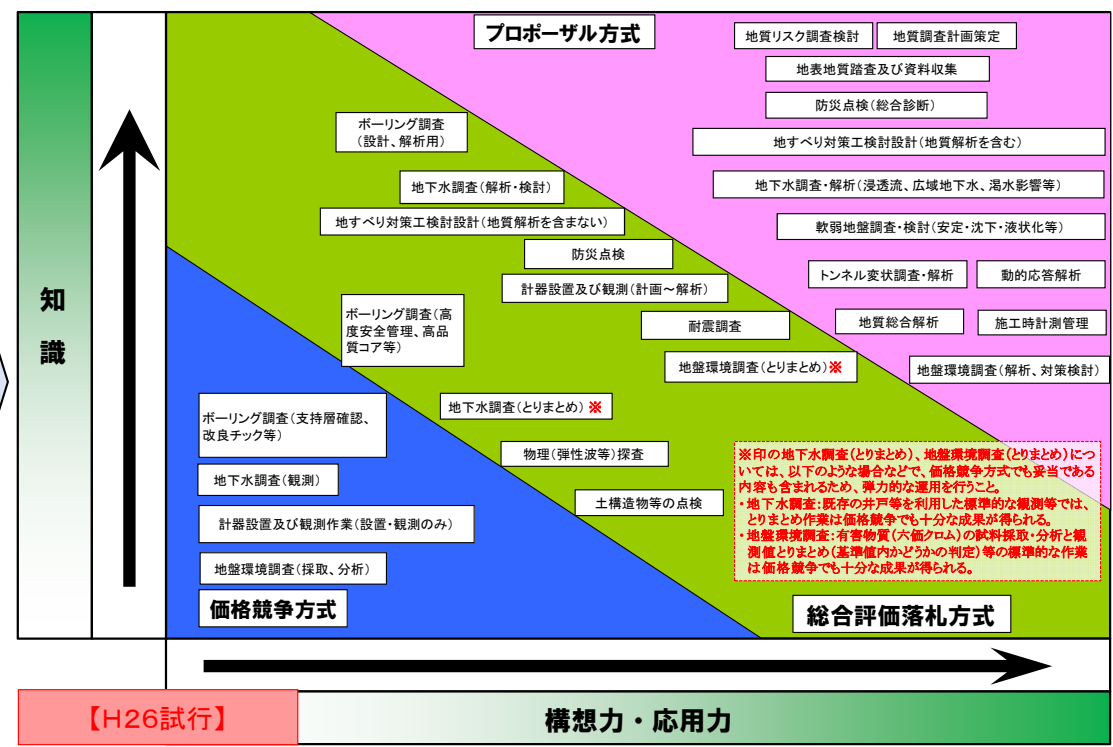
参考資料) 試行1: 業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

【地質調査】発注方式選定表

現行ガイドラインの「発注方式選定表」



H26試行の「発注方式選定表」



プロポ／総合評価の境界線上にあった7業種

プロポとして業種(業務内容)を見直し

総合評価／価格競争の境界線上にあった5業種

総合評価、価格競争に分割

参考資料) 試行1: 業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

【地質調査】の推奨発注方式適合状況(業務詳細別)

地質調査全体の推奨発注方式適合率(全体適合率)は、H25年度は80.4%であったが、H26試行1業務では、90.6%に上昇している。

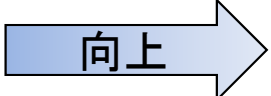
H25年度

旧(新との対照)		業務細目	発注件数(H25年度契約)					推奨発注方式適合率
方式1	方式2		プロボ	総合評価	価格競争	特命随契約	計	
プロボ		地表地質踏査及び資料収集	0	2	1	0	3	0%
プロボ		トンネル変状調査	0	0	0	0	0	
プロボ		トンネル応力変形解析	0	0	0	0	0	
プロボ		動的応答解析	0	0	0	0	0	
プロボ		地質総合解析	4	10	7	0	21	19.0%
プロボ	総合評価	施工時計測管理(高盛土・トンネル等)	0	0	0	0	0	
プロボ	総合評価	軟弱地盤対策検討	3	1	10	0	14	28.6%
プロボ	総合評価	軟弱地盤安定・沈下概略検討	0	0	0	0	0	
総合評価		軟弱地盤特殊土質試験	0	1	1	0	2	50.0%
プロボ	総合評価	地すべり対策工検討設計	0	0	4	1	5	0%
プロボ	総合評価	地すべり機構解析	3	3	0	0	6	100%
プロボ	総合評価	広域地下水流動調査・解析	5	10	3	0	18	83.3%
プロボ	総合評価	浸透流解析	0	1	0	0	1	100%
プロボ		トンネル漏水影響調査・解析	1	0	1	0	2	50.0%
総合評価		トンネル水文・水質観測調査	2	26	14	0	42	61.9%
総合評価		地盤環境(土壌・地下水等)調査	3	33	10	0	46	71.7%
プロボ		地盤環境調査解析	1	0	0	0	1	100%
総合評価		動的土質試験	0	0	0	0	0	
総合評価		液状化判定(解析含む)	2	1	0	0	3	33.3%
総合評価	価格	物理(弾性波等)探査	1	6	7	0	14	92.9%
総合評価	価格	地すべり計器設置及び観測	1	20	19	0	40	97.5%
総合評価	価格	高盛土計器設置及び観測	0	2	0	0	2	100%
総合評価	価格	ボーリング調査(一般)	0	174	266	2	442	100%
プロボ		ダム地質解析	0	2	1	0	3	0%
プロボ		地盤・環境関連企画調査	1	0	0	0	1	100%
総合評価		地質調査(予備・詳細設計用、一般)	0	107	91	1	199	53.8%
総合評価	価格	土質試験・検層(一般)	1	2	5	0	8	87.5%
		その他	1	3	0	0	4	
全体			29	404	440	4	877	80.4%

H26年度試行1

新		業務区分	発注件数(H26.6.16~9月末公示)					推奨発注方式適合率
方式			プロボ	総合評価	価格競争	特命随契約	計	
プロボ		地表地質踏査及び資料収集	0	0	0	0	0	
プロボ		トンネル変状調査・解析	0	0	0	0	0	
プロボ		動的応答解析	0	0	0	0	0	
プロボ		地質総合解析	4	0	0	0	4	100%
プロボ		地質リスク調査検討	0	0	0	0	0	
プロボ		地質調査計画策定	1	0	0	0	1	100%
プロボ		防災点検(総合診断)	0	0	0	0	0	
プロボ		施工時計測管理	0	0	0	0	0	
プロボ		軟弱地盤調査・検討(安定・沈下・液状化等)	3	0	1	0	4	75.0%
プロボ		地すべり対策工検討設計(地質解析を含む)	6	0	0	0	6	100%
総合評価		地すべり対策工検討設計(地質解析を含まない)	1	3	0	0	4	75.0%
プロボ		地下水調査・解析(浸透流、広域地下水、漏水影響等)	7	0	0	0	7	100%
総合評価		地下水調査(とりまとめ)	0	3	0	0	3	100%
総合評価		地下水調査(解析・検討)	0	0	0	0	0	
プロボ		地盤環境調査(解析、対策検討)	1	0	0	0	1	100%
総合評価		地盤環境調査(とりまとめ)	0	0	0	0	0	
価格		地盤環境調査(採取・分析)	0	0	4	0	4	100%
総合評価		防災点検	0	3	0	0	3	100%
総合評価		土構造物等の点検	0	1	0	0	1	100%
総合評価		耐震調査	0	0	0	0	0	
総合評価		物理(弾性波等)探査	0	4	1	0	5	80.0%
総合評価		計器設置及び観測(計画～解析)	0	1	0	0	1	100%
価格		計器設置及び観測作業(設置・観測のみ)	0	4	5	0	9	55.6%
総合評価		ボーリング調査(設計・解析用)	0	60	11	0	71	84.5%
総合評価		ボーリング調査(高度安全管理、高品質コア等)	0	21	0	0	21	100%
価格		ボーリング調査(支持層確認、改良チェック等)	0	2	64	0	66	97.0%
価格		地下水調査(観測)	0	0	2	0	2	100%
【業務区分の判別がつかない業務】			0	1	1	0	2	
全体			23	103	89	0	215	90.6%

全体適合率 80.4%



全体適合率 90.6%

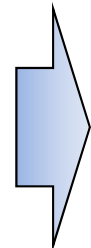
参考資料) 試行1: 業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

【地質調査】発注方式別の適合率

H25年度に比べ、H26試行1業務では各発注方式において適合率が上昇している。特にプロポは23%⇒96%、総合評価は58%⇒88%と大きい。

H25年度業務の推奨発注方式適合率

選定された発注方式 推奨発注方式	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	推奨発注方式 適合率
プロポ	7	14	10	0	31	23%
プロポ/総合評価 境界上	11	15	17	1	44	59%
総合評価	7	168	116	1	292	58%
総合評価/価格競争 境界上	3	204	297	2	506	99%
価格競争	0	0	0	0	0	0%
合計	28	401	440	4	873	80%



H26年度試行1業務における推奨発注方式適合率

選定された発注方式 推奨発注方式	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	推奨発注方式 適合率
プロポ	22	0	1	0	23	96%
総合評価	1	96	12	0	109	88%
価格競争	0	6	75	0	81	93%
合計	23	102	88	0	213	91%

試行1. 受発注者アンケート結果

入口評価：受発注者へのアンケート

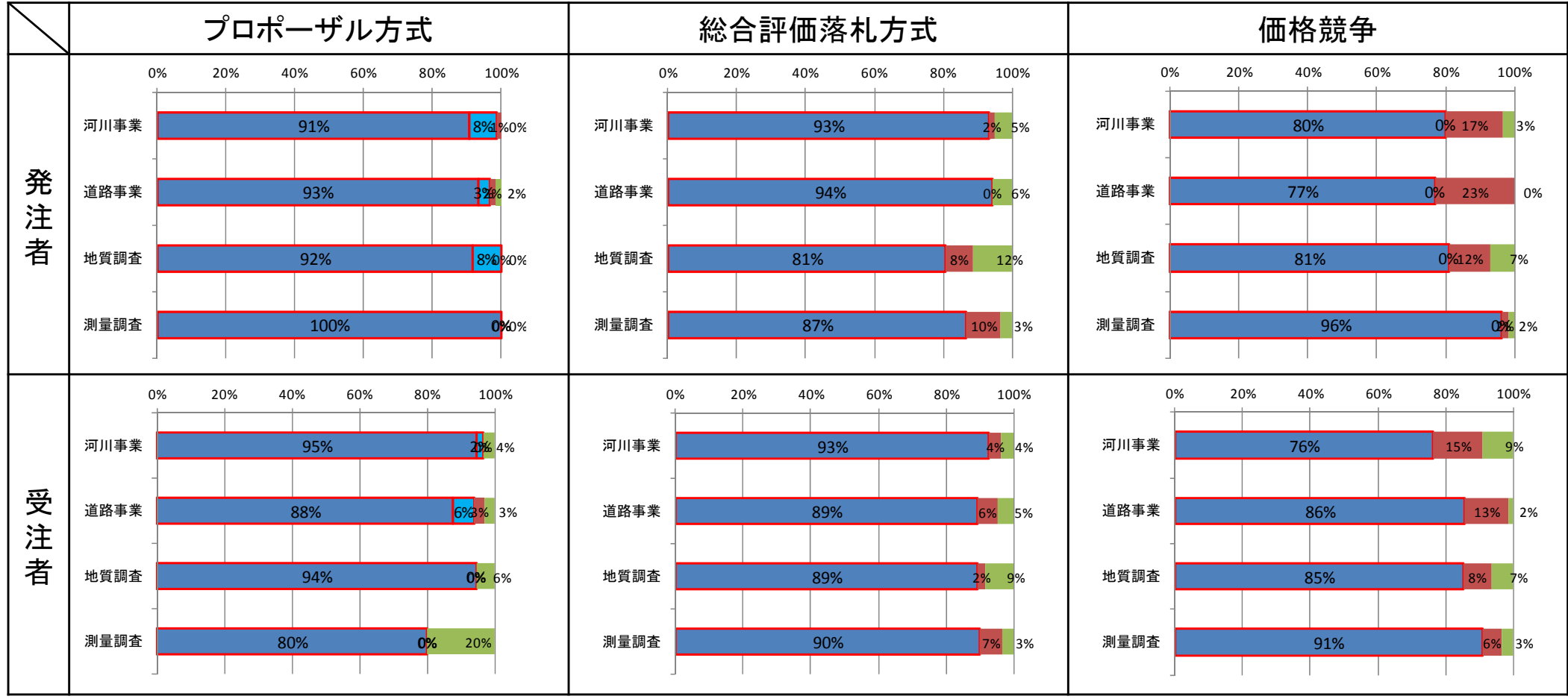
発注者、受注者双方ともに、「大部分の業務で業務内容と適合した適切な発注方式が選択された」と認識。

	プロポーザル方式	総合評価落札方式	価格競争
発注者	<ul style="list-style-type: none"> ①業務内容に適合した発注方式を選択できた ②業務内容に概ね適合した発注方式を選択できた ③業務内容に適合していない発注方式となった ④どちらとも言えない <p>N=476</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①業務内容に適合した発注方式を選択できた ③業務内容に適合していない発注方式となった ④どちらとも言えない <p>N=521</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①業務内容に適合した発注方式を選択できた ③業務内容に適合していない発注方式となった ④どちらとも言えない <p>N=602</p>
受注者	<ul style="list-style-type: none"> ①業務内容に適合した発注方式を選択できた ②業務内容に概ね適合した発注方式を選択できた ③業務内容に適合していない発注方式となった ④どちらとも言えない <p>N=642</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①業務内容に適合した発注方式を選択できた ③業務内容に適合していない発注方式となった ④どちらとも言えない <p>N=1,039</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①業務内容に適合した発注方式を選択できた ③業務内容に適合していない発注方式となった ④どちらとも言えない <p>N=734</p>

参考資料) 試行1: 業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

入口評価：受発注者へのアンケート

業務事業ごとの業務内容に応じた適切な発注方式の選択されたかについての見解



凡例：
 ■ ①業務内容に適した発注方式を選択できた (発注者)
 ■ ②業務内容に概ね適した発注方式を選択できた (発注者)
 ■ ③業務内容に適合していない発注方式となった (発注者)
 ■ ④どちらとも言えない (発注者)

凡例：
 ■ ①業務内容に適した発注方式で発注された (受注者)
 ■ ②業務内容に概ね適して発注された (受注者)
 ■ ③業務内容に適合していない発注方式だった (受注者)
 ■ ④どちらとも言えない (受注者)

参考資料) 試行1: 業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

入口評価：受発注者へのアンケート

業務内容に応じた適切な発注方式の選択されたかについての見解(受注者団体別)

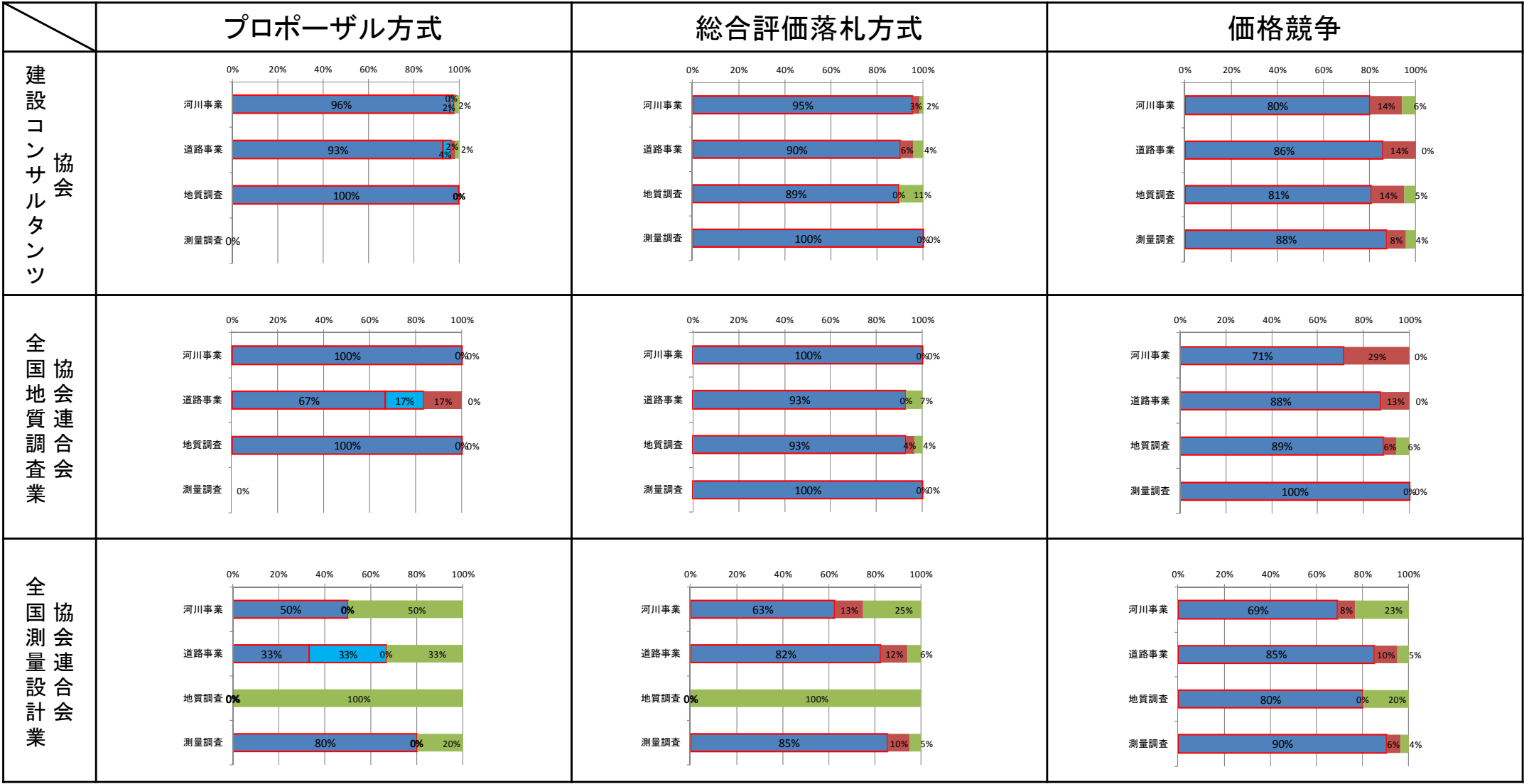
	プロポーザル方式	総合評価落札方式	価格競争
建設 コンサル 協会	<p>N=529</p>	<p>N=534</p>	<p>N=233</p>
全国 地質 調査 協会	<p>N=98</p>	<p>N=218</p>	<p>N=173</p>
全国 測量 設計 協会	<p>N=15</p>	<p>N=287</p>	<p>N=328</p>

■①業務内容に適合した発注方式を選択できた ■②業務内容に概ね適合した発注方式を選択できた ■③業務内容に適合していない発注方式となった ■④どちらとも言えない

参考資料) 試行1: 業務内容に応じた適切な発注方式の選定について

入口評価：受発注者へのアンケート

業務事業ごとの業務内容に応じた適切な発注方式の選択されたかについての見解(受注者団体別)



凡例： ■①業務内容に適した発注方式を選択できた ■②業務内容に概ね適した発注方式を選択できた
 (発注者) ■③業務内容に適していない発注方式となった ■④どちらとも言えない

凡例： ■①業務内容に適した発注方式で発注された ■②業務内容に概ね適して発注された
 (受注者) ■③業務内容に適していない発注方式だった ■④どちらとも言えない

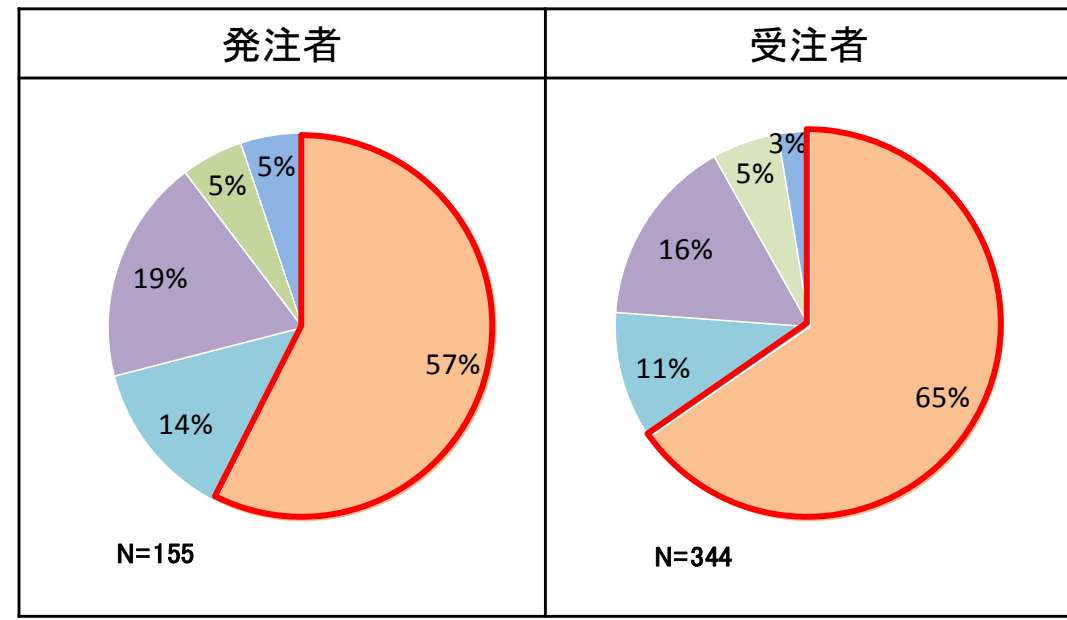
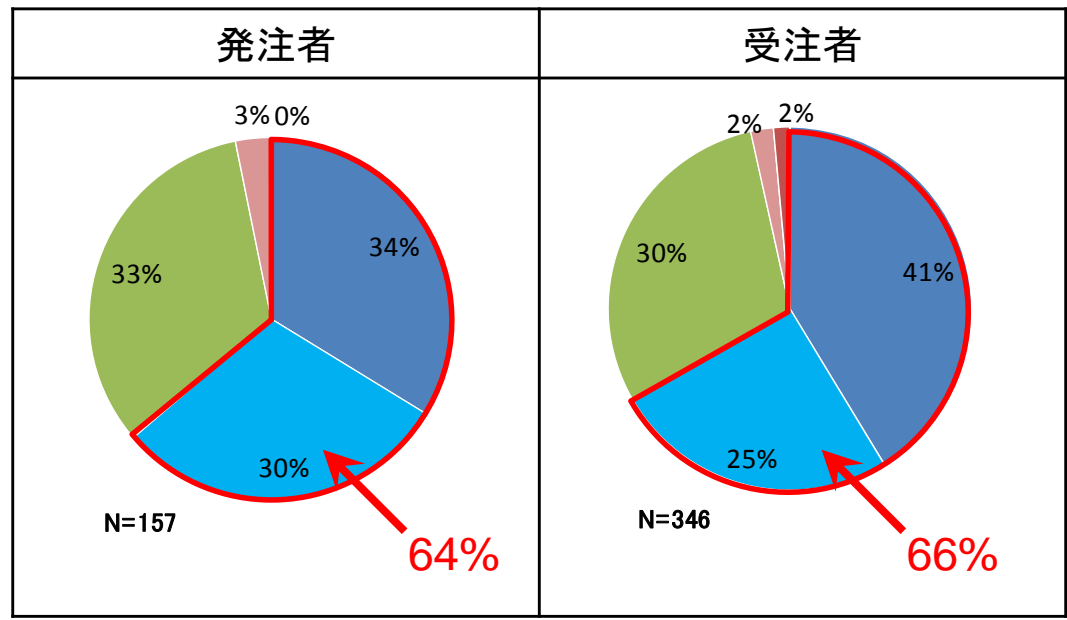
試行1. 受発注者アンケート結果

入口評価：受発注者へのアンケート

試行1の今後の方針について

試行前と比較し、業務内容に応じた適切な発注方式となったかについての見解(受発注者)
 ⇒ 受発注者とも約2/3が選定表は適切と評価

本試行の今後の取り組みへの意向(受発注者)
 ⇒ 受発注者ともに、本格実施すべきと回答した割合が半数以上、一部見直しの意見が3割程度



- 凡例:(発注者)
- ①業務内容に適した発注方式を選択できるようになった
 - ②試行前と比較して、適切な発注方式を選択できる業務がやや増えた
 - ③どちらとも言えない
 - ④試行前と比較して、適切な発注方式を選択できない業務がやや増えた
 - ⑤試行前と比較して、適切な発注方式を選択できない業務がかなり増えた

- 凡例:(受注者)
- ①業務内容に適した発注方式で発注されるようになった
 - ②試行前と比較して、適切な発注方式がやや増えた
 - ③どちらとも言えない
 - ④試行前と比較して、適切でない発注方式がやや増えた
 - ⑤試行前と比較して、適切でない発注方式がかなり増えた

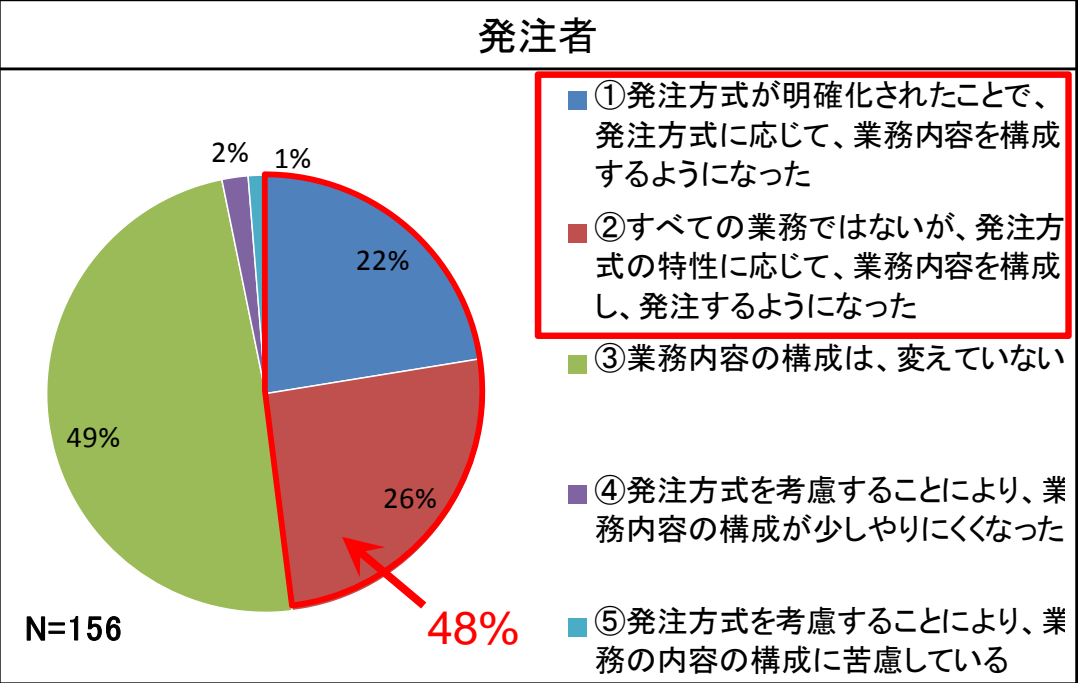
- 凡例:
(受発注者)
- ①本格実施(ガイドラインに位置付け)
 - ②一部、見直し、本格実施(ガイドラインに位置付け)
 - ③一部、見直し、試行継続
 - ④全体的に見直し、改善すべき
 - ⑤その他

試行1. 受発注者アンケート結果

「業務内容に応じた適切な発注方式の選定」導入の効果の評価

業務内容の定義、構成への影響はどうか。

(発注者)発注方式に見合った内容となるよう業務の構成を検討したか
⇒ 業務内容の構成を適切に見直した、との回答が約5割。



その他自由意見(受発注者)

- 受発注者共通
- 業務の規模や難易度等に応じた柔軟な選定ができなくなった
 - 河川や道路等以外の事業についても選定表があるとよい
 - 選定表に記載がない業務もあるため、それらの追加を検討してほしい
 - 「〇〇設計(特殊)」「〇〇設計(一般)」「大規模〇〇」等について、「特殊」、「一般」、「大規模」の目安があるとよい

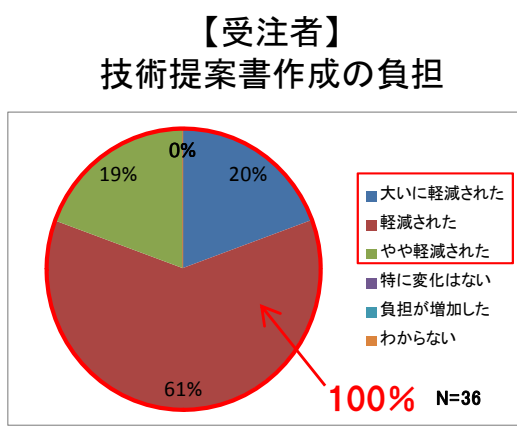
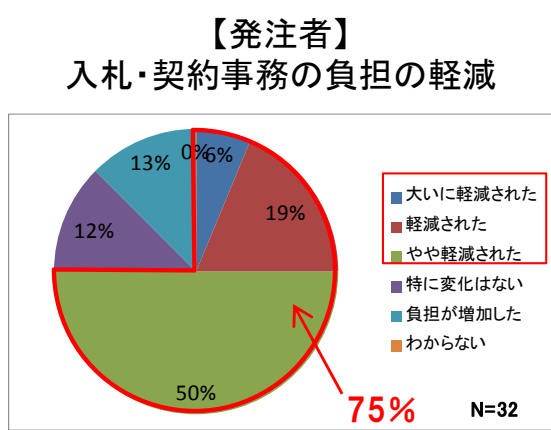
試行2. 受発注者アンケート結果

「技術者評価を重視した選定」の評価(入口評価①)

発注関係事務の負担は軽減されたか。

受発注者に対するアンケート結果

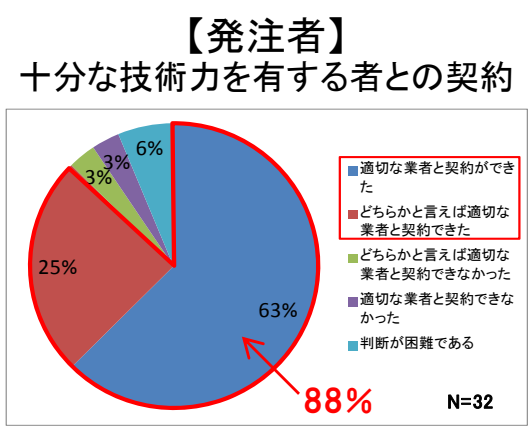
事務的な負担感の軽減



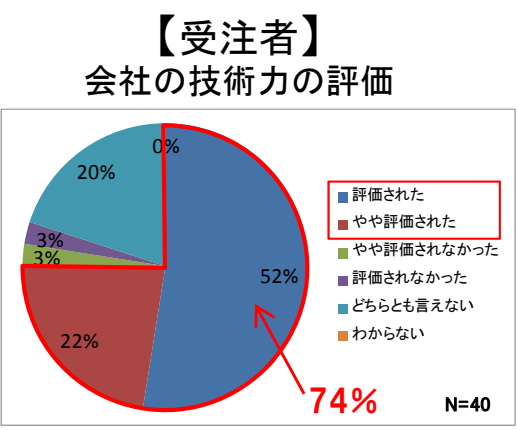
➤ 発注者の3/4が入札・契約事務負担が軽減したと回答。

➤ 全ての受注者が技術提案書作成負担が軽減したと回答。

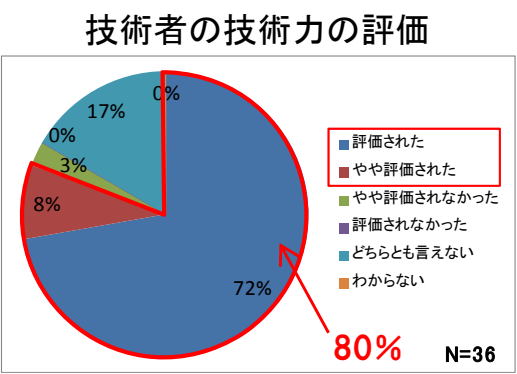
技術力の評価



➤ 発注者の約9割が技術力を有する者と適切な契約ができたと回答。



➤ 受注者の7割以上が会社の技術力が評価された、約8割が技術者の技術力が評価されたと認識



受発注者アンケートのまとめ

<発注者>
負担感が軽減し、十分な技術力を有する適切な者と 契約できたと認識

<受注者>
会社及び技術者の能力を評価されていると認識

その他自由意見

発注者	
●業務評価点の配点の見直しが必要	3件
●ヒアリングの省略の検討も必要	3件
●ヒアリングが必須となったため、ヒアリングに要する作業負荷が増加(特に、参加者が多い場合)	3件
●実施方針や技術者の資質を確認する上でヒアリングは必要(ただし、時間を短縮するなどの工夫が必要と思われる)	2件
●過去の業務実績数により平均業務評価点に問題が生じる場合がある 例)77点(42件)、80点(1件)では前者の方が信頼性が高いと考えられるため、業務評価点のみを極端に重視した評価には無理がある	1件
●本格導入には、業務内容等を踏まえて、柔軟に適用できるよう配慮が必要	2件
	他5件

N=36

受注者	
●良い試行である。	9件
●試行を継続してもらいたい。	3件
●業務内容や現場特性に応じて、必要により、評価テーマの設定も必要	4件
●試行が全業務に拡大されると、ヒアリングの実施回数が多くなり、その対応に苦慮することが想定される。	1件
●一つの地整で展開する地方コンサルより、平均業務評価点の高い他地整の実績を持つ広域コンサルの方が有利に思える。	1件
●過去の平均業務評価点は、複数物件(5件以上等)で評価して頂きたい。業務実績1件が高評価の場合は、それが過去の平均業務評価点となる。	1件
	他8件

N=40